

Sustainability Commitment

2026-2028





Message from our Leadership

船が関門海峡を行き交う。これがこのまちの日常の風景です。北九州と下関、対岸まで渡船でわずか5分。手を伸ばせば届きそうな距離に、もうひとつの街がある。空と海と陸が会うこの海峡には、人と人が交わることで生まれた物語が幾重にも積み重なっています。

私はこの地で生まれ育ちました。サステナビリティという言葉、私は「この日常を続けていくこと」だと捉えています。海峡を渡る風、行き交う人々の声、受け継がれてきた文化。何気ないこの風景を、100年後にも残すために何ができるか。その問いが、私たちの再生型観光の出発点です。

人と文化が会い続けてきたこの場所を、次の世代へ。それが関門DMOの使命です。

巖洞 秀樹

一般社団法人海峡都市関門DMO

代表理事

Action Plan

ビジョン

再生型観光（Regenerative Tourism）を通じて関門海峡エリアの環境・社会・経済・文化をより豊かにし、持続可能な地域の未来を創造します。

コミットメント

関門海峡は、本州と九州をつなぐ海峡都市として、多様な人と文化が出会い続けてきた場所です。関門DMOは、この地の自然環境、歴史文化、そして人々の暮らしを次世代へ継承するため、「関門海峡エリア 観光気候行動計画」および「関門海峡エリア サステナブルイベント ガイドライン」に基づき、以下のサステナビリティを推進します。

推進体制

関門DMOの代表理事は本コミットメントの実行に関する最終責任を担います。サステナビリティ推進の実務は、GSTC認定資格（Professional Certificate in Sustainable Tourism）を有する職員が担当します。

環境負荷の低減

2050年ネットゼロの実現に向け、2030年度までに組織運営に伴う温室効果ガス排出量を基準年度比47%以上削減します。

- 事務所の電力について、北九州パワー（北九州市等が設立した地域新電力）のCO2フリー電力プランを契約します。北九州パワーは市内の焼却工場における廃棄物発電を活用した電力を供給しており、エネルギーの地産地消と循環型社会に貢献します
- 組織のカーボンフットプリントの測定に取り組み、結果を地域の観光関連組織と共有します
- イベント主催者に対し、CO2簡易算定シートの提供等を通じて環境配慮型の運営を支援します
- 全職員に対し、サステナビリティに関する研修を年1回実施します

経済的なサステナビリティ

関門海峡エリアの観光・MICE産業を通じて、地域経済の活性化を図ります。

- 歴史的文化財をユニークベニューとして活用し、関門海峡ならではの体験価値を創出します
- ケータリング、装飾、記念品等における地元事業者への優先調達を推進します
- 閑散期のイベント開催支援を通じて、観光需要の年間平準化に取り組みます

持続可能な調達

組織の調達・購買において、環境配慮紙の使用、地元事業者への優先発注、使い捨てプラスチックの回避を方針とし、取引先にも本コミットメントの趣旨への理解と協力を求めます。

社会的包摂と地域社会へのインパクト

すべての人が観光を楽しめる地域づくりと、地域社会へのポジティブな影響の創出に取り組みます。

- 年齢、障がい、言語、食の制限などに関わらず、誰もが快適に過ごせる観光地づくりを進めます
- 地域住民、行政、観光事業者、大学と対話を重ね、観光を通じたまちの課題解決に一緒に取り組みます
- イベントや観光プログラムが、地域の暮らしや環境に良い影響を残せる仕組みをつくります

本コミットメントの有効期間は2026年度から2028年度とします。期間終了時に社会情勢や事業環境の変化を踏まえ、見直しと更新を行います。

策定日: 2026年4月1日

一般社団法人海峽都市関門DMO

代表理事: 巖洞 秀樹

